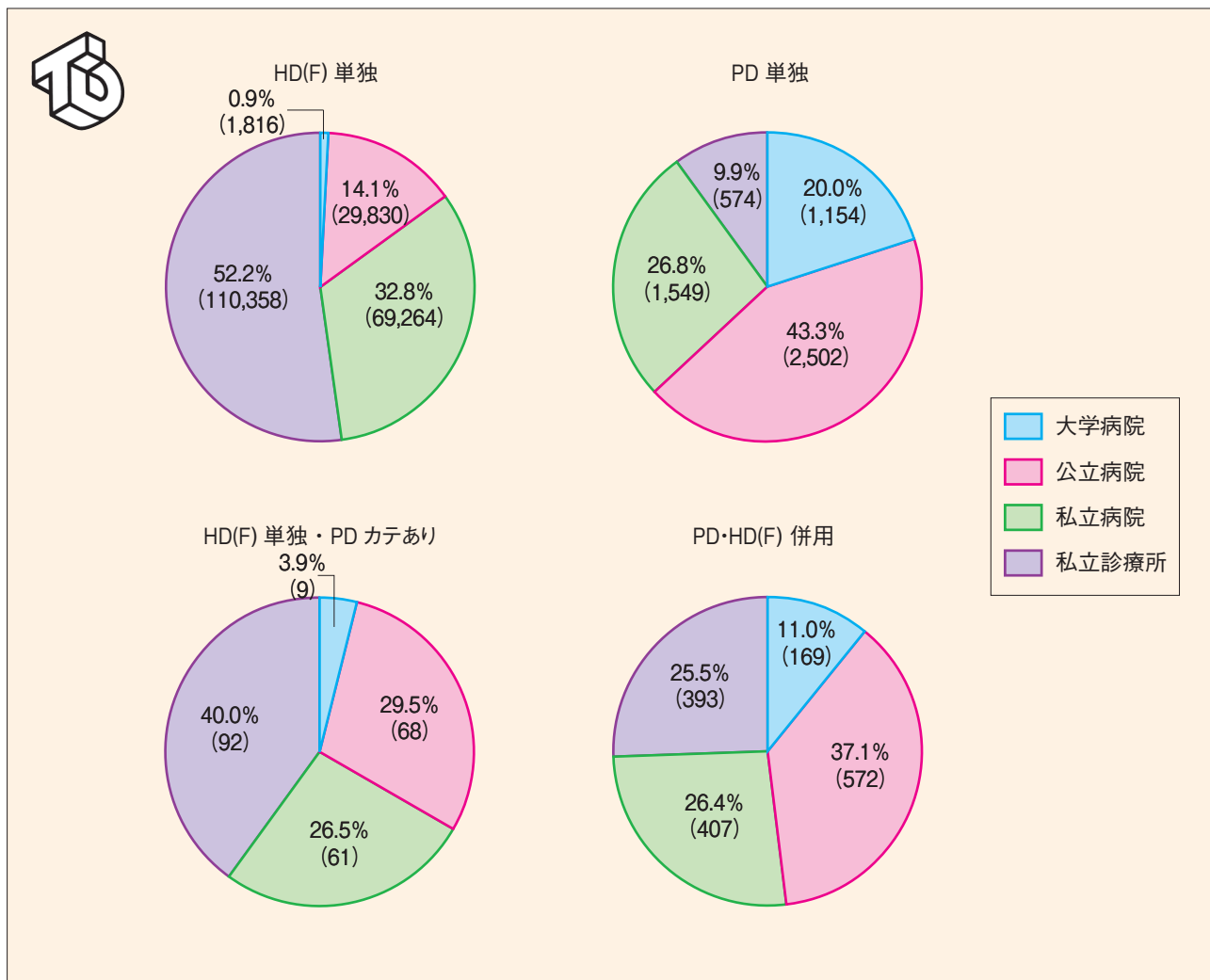


2) PD療法の現状

(2) 治療方法別治療施設分布 (図表29)



医療機関	大学病院		公立病院					私立病院		私立診療所	合計
	国公立大学	私立大学	国立	県市町村立	社会保険	厚生連	その他公的	私立総合	私立		
HD(F) 単独 (%)	347 (0.2)	1,469 (0.7)	322 (0.2)	13,545 (6.4)	2,544 (1.2)	5,947 (2.8)	7,472 (3.5)	5,245 (2.5)	64,019 (30.3)	110,358 (52.2)	211,268 (100.0)
PD 単独 (%)	356 (6.2)	798 (13.8)	83 (1.4)	1,068 (18.5)	205 (3.5)	362 (6.3)	784 (13.6)	303 (5.2)	1,246 (21.6)	574 (9.9)	5,779 (100.0)
HD(F) 単独・PDカテあり (%)	0	9 (3.9)	0	30 (13.0)	7 (3.0)	8 (3.5)	23 (10.0)	15 (6.5)	46 (20.0)	92 (40.0)	230 (100.0)
PD・HD(F) 併用 (%)	43 (2.8)	126 (8.2)	14 (0.9)	225 (14.6)	53 (3.4)	103 (6.7)	177 (11.5)	92 (6.0)	315 (20.4)	393 (25.5)	1,541 (100.0)

患者調査による集計

解説

PD患者とHD(F)患者の治療施設の差を明確にするために、施設種別の、国公立大学、私立大学を「大学病院」、国立、県市町村立、社会保険、厚生連、その他公的を「公立病院」、私立総合、私立を「私立病院」、私立診療所は単独で「私立診療所」とまとめて図を作成した。

HD(F)単独患者は32.8%が私立病院、52.2%が私立診療所で治療を行っており、大学病院は0.9%であった。一方PD単独患者は大学病院20.0%、公立病院43.3%であった。PD・HD(F)併用患者の分布はその中間であり、カテーテルを残しているだけの患者(洗浄のみ)の分布はHD(F)単独患者の分布に近づいた。このようにPD患者は主に大学病院や公立病院で、HD(F)患者は主に私立の透析施設で管理されていた。